

神学院での生活

今年度、東京神学院キャンパスには24名の神学生と養成者が6名います。哲学科1年生5名、哲学科2年生は9名、助祭コースは10名です。私は皆様のお祈りに支えられて、哲学科2年生として神学院で学んでいます。勉学と祈りを大切にしながら、だんだん喜びを感じており、サッカーとバドミントンをすることを通して交わりを深めています。そして、ストレスを発散するために畑で野菜を植えています。(くうしんさい、トマト、じゃがいも、キュウリ、さつまいもなどです。)

人間的側面において、健康のために一緒に活動しています。日々、神学生兄弟たちと交わり、奉仕することを学んでいます。下級生や共同体のためにもっと頑張らなければならないと思います。私は日本の文化と言語と習慣は分かるようになってきました。生活に適応していくように、謙遜な態度を持って自分自身を変えていきたいと思っています。また、養成者の教え、指導に従いながら一層成長したいと思っています。

宣教司牧的側面において、今年度の4月から来年の3月まで、東京教区の北町教会に行くことになりました。各週の土曜日の午後から次の日の日曜日の午後までです。北町教会で色々な活動に参加しながら、様々なことを勉強することができると思います。司牧実習では侍者、ミサ準備、ミサ奉仕、朗読、初聖体の担当、教会学校の担当だけではなく、教会の活動をよく観察して学んでいます。また、信者さんと対話して、分かち合うひとときをもっています。最初は困ったことがたくさんありましたが、今はだんだん慣れてきたと思っています。これからも教会のことを学びながら、信者さんだけでなく、未信者さんも親切にしたいと思っています。

哲学科2年生になっても、私の日本語がまだ足りないので、いつでも、どこでも日本語を意識して学び、言語の壁を乗り越えていくように頑張りたいと思っています。また、神学院での生活に慣れながら、今後とも知的、人間的、霊的生活を充実して、忍耐と謙遜な心を育てるように努めます。品格を磨いて、少しずつ成長していきたいと思っています。これからも、私のために祈りささげていただいたら、幸いと存じます。宜しくお願い致します。

2012年6月15日

ペトロ ホアン ドウク ロイ